



2018年度 プロジェクト

「体験合宿」 実施報告書

実施概要

実施名称
主催
実施内容
実施目的
テーマ

■実施概要

■実施目的

「海と日本PROJECT」の主旨である「次世代を担う子供や若者を中心として多様な人が海への好奇心を持ち、行動を起こすムーブメントをつくる」を達成するため、子どもたちに実際に海を守ることに携わる人々との出会い、気づきの場を提供、海への関心を高めていくことを目的としてプロジェクトを推進。

■主催

次世代価値コンソーシアム
日本財団「海と日本PROJECT」

体験合宿①

■実施名称

「海と生態系」を学ぶ体験合宿(in千葉)

■実施内容

千葉県・館山市の無人島”沖ノ島”を舞台に、1泊2日の体験合宿を実施
・開催日： 2018年8月27日(月)-28日(火) 2日間

■テーマ

『海と生態系』

■学びのポイント

- ①無人島探検をつうじて、島のなりたちやその島全体に住む生き物(植物を含む)と生態系を知る
- ②貝殻拾いと調べ学習を通じて、館山の海に住んでいる生き物と、潮の流れによって漂着する(生き)物の違いを知る
- ③磯場の生き物観察をつうじて、生き物の多様性と、海の生態系を知る
- ④潮の満ち引きを通じて、人の生活と海とのかかわりを知る

体験合宿②

■実施名称

「海と仕事」を学ぶ体験合宿(in神奈川)

■実施内容

神奈川県・横須賀市を舞台に、1泊2日の体験合宿を実施
・開催日： 2018年9/8日(土)-9日(日) 2日間

■テーマ

『海と仕事』

■学びのポイント

- ①相模湾の魚が海から食卓までどう届くのかを知る
- ②東京湾の生き物、役割について知る
- ③身近な海の様々な異変とその理由を理解する
- ④大切な海を守るために様々な工夫、取組が行われていることを知る
- ⑤100年先もたくさんの魚や生き物が住み続けられる海であるように、海を守るためにできることを考え、まとめる

総評

「子どもたちに実際に海を守ることに携わる人々との出会い、気づきの場を提供、海への関心を高めていくこと」を目的とした取組みとして、「海と生態系」「海と仕事」をテーマとした体験プログラムを千葉：館山、神奈川：横須賀の2箇所にて実施いたしました。

プログラムは、表面的ではない深い部分で体感してほしいとの意図で、実際に海のお仕事をされている方々、地域に根ざした研究活動をされている方々など、専門家といえる方々にご協力いただく内容としました。また、子供だけではなく保護者の方々にも体感していただきたいという意図から、保護者も一緒に体験し、楽しみながら学んでいただける良質なプログラムが開発できたと考えております。

結果、館山：5組（計10名）、横須賀：3組（計10名）のご家族の方々にご参加いただき、参加された方々からは、楽しみながらも、新たな発見に興味を惹かれるなど海への関心が高まっている様子を見てとることができ、また、アンケート結果でも総じて高い評価をいただきました。特に、体験を通じて、「海を身近に感じられた」「海がもっと好きになりました」とコメントをいただくこともでき、当初の目的に対して相応の成果をあげることができたと考えております。

一方で、以下の2点において改善すべき事項もございました。今回の参加者は、総じて比較的に海に親近感をもつ方々のみでした。それ自体は何らの問題はありませんが、普段は海に関心のない方々にも興味をもっていただき、ご参加いただくことができれば、より本質的な目的に近づけると考えております。よって、それを意識したプログラムの構築、告知方法等を今後は意識すべきであると考えております。

実際の体験催行時において、子供の年齢差を踏まえた進行管理がうまくできないタイミングがございました。年齢に応じた理解度の違いや、物理的な行動速度の違いなどを踏まえて、個別にフォロー対応することで、より高い水準での満足感を提供することができたのではないかと考えております。

上記は、今後のより良いプログラムの実践のために活かしてまいります。

館山体験合宿時の内容

スケジュール

日程
集合場所・時間
観察エリア
宿泊先

- 日程 2018年8月27日(月) ~ 8月28日(火) 1泊2日
- 集合場所・時間 新宿駅西口センタービル1F正面玄関前 9:15集合
- 観察エリア 千葉県館山市 沖ノ島
- 宿泊先 たてやま温泉夕日海岸昇鶴(千葉県館山市八幡822)

<一日目>

- 9:15~ 新宿駅西口センタービル1F、正面玄関前で受付
- 9:30 バスで出発(途中、道の駅「富楽里」で各自自由昼食)
- 12:45 「夕日海岸昇鶴」着。オリエンテーション後、バスでフィールドへ
- 14:00 無人島「沖ノ島」着
- ★いよいよ無人島探検！島はどうやってできたの
どんな生き物がいるの？
 - ★わからないことはネイチャーガイドさんに
どんどん質問しよう！
 - ★標本作りにする貝も探してみよう！
- 16:15 体験後、バスでホテルへ。到着後、自由行動

<二日目>

- 8:45 バスでホテルを出発
- 9:00 渚の駅「たてやま」着。セミナールームへ。
- ★自分であつめた貝殻の名前や特徴を調べ、
世界で一つだけの貝殻標本をつくってみよう！
- 10:30 バスでふたたび「[沖ノ島]へ
- ★ネイチャーガイドさんのヒントを手がかりに、
海の生き物をたくさん見つけて名前をおぼえよう！
 - ★昨日、海の中に沈んでいた磯はどんなところ？
どんな生き物を見つけることができたかな？
- 12:50 着替えたらバスで帰京
(途中、道の駅「富楽里」で各自自由昼食)
- 16:00頃 新宿駅西口着。解散

制作物

いこーよ 集客用ページ
いこーよ イベントレポートページ
館山クイズ
スケジュール (参加者用)
観察日記 (参加者用)
運営者マニュアル

制作物

いこーよ 集客用ページ

<https://iko-yo.net/events/120267/news/33993>

8/27 夏休みの無人島探検隊！ in千葉【海と日本PROJECT】の最新情報

※2018年2月19日～4月20日

8/27 夏休みの無人島探検隊！ in千葉【海と日本PROJECT】

千葉県山内八幡宮22にて千葉県民夕日海岸で

このイベントは終了しました。

8/27 夏休みの無人島探検隊！ in千葉【海と日本PROJECT】のお知らせ

2018年8月22日 11時39分
夏休み半島の先陣！千葉の無人島を探検！

※本イベントは満席になりました！※

★親子で千葉県山の無人島体験！★

皆様はご存知ですか？
「無人島探検隊！」
自分だけで、自分だけで自分だけで！世界にひとつだけの「無人島探検隊」
たてよりの海の無人島探検が、お楽しみがかりのあつてお楽しみを学ばせてくれる「海の探検隊」



夏休み前半島の先陣、千葉県山内の無人島、親子探検隊が島の中心に集ります！
島にくらぶ体験と体験をテーマに、「海の探検隊・体験性・人と自然と海とのつながり」を学びます。
探検を通じて多くの気づきや学びのあるプログラム、自分だけの島の探検隊をつくり、夏休みの思い出にのびたりです！
※今回のプログラムは、引き続き開催している「海と日本PROJECT」の体験と二ヶ年プログラムです。
この機会に子どもと大人が中心に、より多くの学びに「海の探検」について考えたい、【海への探検隊】をテーマとしたムーブメントとなることを目指しています！



お申込みはこちら

※詳細とお申込みはこちらからお問い合わせください。
※申込受付期間：8月20日（水）17:00～8月22日（日）15:00

◆◆◆スケジュール

●日程
2018年8月27日（月）～ 8月28日（火）1日2日

●集合場所と集合時間
千葉県山内八幡宮22にて千葉県民夕日海岸 9:15集合

●朝のスタート
千葉県山内八幡宮

●お楽しみ
千葉県山内八幡宮22にて千葉県民夕日海岸

＜一日目＞
9:15～ 千葉県山内八幡宮22にて、千葉県民夕日海岸で受付
9:30 「川で探検（探検、探検）【探検】で自然の探検隊」
12:45 「海で探検（探検）【探検】で自然の探検隊」
14:00 無人島「探検」
●いよいよ無人島探検！島はどうやって探検するの？探検隊の探検隊は？
●お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？
●探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
16:15 探検隊、バスで帰る。探検隊、探検隊

＜二日目＞
9:45 バスでお楽しみ会場
9:50 探検隊「たてよりの探検」探検、探検隊、探検隊
●自分だけの探検隊をつくり、世界にひとつだけの探検隊をつくりたい！
10:30 バスでお楽しみ会場
●お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？
●探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
●探検、探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
12:50 探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
14:00 探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
15:00～16:00 探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
※1日目・2日目の、天候により、安全確保のためプログラムの変更、または開催が中止になる場合がございます。

◆◆◆イベントに参加について

●親子での参加対象：3歳～小学生

●参加人数：5組（親子探検隊2組）
※1組2名以上5名まで（うち大人（保護者）3人以上、子ども2名以上）
※申し込みは先着順ですが、お楽しみは先着順です。
※申し込みは先着順です。申し込みは先着順です。
※申し込みは先着順です。申し込みは先着順です。

●費用
-子ども（3歳～小学生） 8,000円（税込）
-大人（中学生・高校生以上） 12,000円（税込）

※事前に本プログラムのご予約をキャンセルした場合は、キャンセル料がかかります。キャンセル料は下記のとおりです。
キャンセル料の目安
-旅行開始日の前日から前日までお申し込みの場合
21日前にキャンセルした場合のキャンセル料 無料
20日前にキャンセルした場合のキャンセル料 旅行代金の20%
19日前にキャンセルした場合のキャンセル料 旅行代金の30%
-当日のキャンセル 旅行代金の40%
-旅行開始日の前日 旅行代金の50%
-旅行開始日の前日 旅行代金の100%
※キャンセル料は旅行代金の100%です。キャンセル料は旅行代金の100%です。

●お楽しみ会場
-千葉県山内八幡宮22にて千葉県民夕日海岸

●お楽しみ
-探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
-探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
-探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
※2日目の探検隊はプログラムをアレンジします。【お楽しみは？お楽しみは？】
※お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？



お申込みはこちら

※詳細とお申込みはこちらからお問い合わせください。
※申込受付期間：8月20日（水）17:00～8月22日（日）15:00



お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？

【旅行内容に関するお問い合わせ先】
●探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
JTB プロモーション事業部 探検隊の探検隊グループ
TEL: 03-5909-6299（内線）（平日）9:30～18:30

【お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？】
JTB 探検隊の探検隊は？お楽しみは？お楽しみは？
TEL: 03-5371-8161（内線）（平日）9:30～18:30



お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？お楽しみは？

■館山クイズ

<p>たてやま 館山クイズ</p> <p>1</p>	<p>ぼくのなまえを、知っているかな？</p> <p>2</p>	<p>みくらべてみよう！</p> <p>3</p>	<p>4</p>	<p>たてやまクイズ①</p> <p>Q. 千葉県館山市でたくさんとれるおさかなは？</p> <p>おさかなの、なまえクイズ！</p> <p>5</p>	<p>なまえを、知っているかな①</p> <p>6</p>
<p>なまえを、知っているかな②</p> <p>8</p>	<p>なまえを、知っているかな③</p> <p>9</p>	<p>こたえ： ①アジ ②サバ(マサバ) ③イワシ(マイワシ)</p> <p>10</p>	<p>たてやまクイズ②</p> <p>Q. みんなが行く無人島のなまえは？</p> <p>11</p>	<p>こたえ： おきのしま (沖ノ島)</p> <p>りくちとつながっていて あるいてわたれるよ</p> <p>12</p>	<p>たてやまクイズ③</p> <p>Q. 海辺で見つかる貝はなんしゅるいあるかな？</p> <p>13</p>
<p>こたえ ③188種類</p> <p>15</p>	<p>たてやまクイズ④</p> <p>Q. 海辺の生き物はなんしゅるいいるかな？</p> <p>16</p>	<p>こたえ ③107種類</p> <p>17</p>	<p>たてやまクイズ⑤</p> <p>Q. 館山で皆さんにたくさんのごちそうを食べてくれる人たちに「ありがとう」の気持ちを思いきり楽しませよう！</p> <p>18</p>	<p>たてやまクイズ⑥</p> <p>Q. 館山で皆さんにたくさんのごちそうを食べてくれる人たちに「ありがとう」の気持ちを思いきり楽しませよう！</p> <p>19</p>	<p>たてやまクイズ⑦</p> <p>Q. 館山で皆さんにたくさんのごちそうを食べてくれる人たちに「ありがとう」の気持ちを思いきり楽しませよう！</p> <p>20</p>

スケジュール (参加者用)

スケジュール << 8/27 >>



じかん	ばしょ	スケジュール
8/27 (月)	9:15~ 新宿駅西口	まへ しゅうごう センタービル前に集合 トイレをすませておこう！
	9:30 新宿駅	ぼそうはんとう みなみ たてやまし しゅうぱつ 房総半島のいちばん南、館山市にむけて出発！ せつめい じこしょうかい バスのなかで、きょうのルール説明や、自己紹介タイム わた ぼそうはんとう たてやまし アクアラインを渡ったら房総半島！館山市についてのクイズをするよ！
	11:30 ハイウェイオアシス富楽里	ひる はん きゅうけい お昼ご飯の休憩 かいぎしつ こんかい ホテルの会議室で、今回のプログラムのオリエンテーション
	12:45 夕日海岸昇鶴	むじんどうたんけん オリエンテーションのあと、いよいよ『無人島探検』に出発！
	13:30 沖ノ島	むじんどうたんけん ★無人島探検スタート！ しつもん ★わからないことはネイチャーガイドさんにたくさん質問しよう！ あす ひょうほん よう かいがら ひろ ★明日の『標本づくり』用の貝殻をさがして拾おう！ み かん じゅう かんさつにつき か こ ★見たもの、感じたことを自由に観察日記に書き込んで さいごにネイチャーガイドさんのサインをもらおう！
16:30 夕日海岸昇鶴	ちやく ホテル着 ひょうほんよう かいがら みずあら すなだ かわ ★標本用の貝殻は、水洗いして砂を出し、乾かしておこう！ ゆうひかいがんしょうかく しゅうぱく <夕日海岸昇鶴 宿泊>	

～3つのやくそく～

- ①元気 (げんき) なあいさつ！
- ②わからないことは質問 (しつもん) しよう！
- ③みんなで楽 (たの) しよう！

0

スケジュール << 8/28 >>



じかん	ばしょ	スケジュール
8:45	ゆうひかいがんしょうかく 夕日海岸昇鶴	なぎさのえき しゅうぱつ 渚の駅たてやまにむけて出発
9:00	なぎさのえき 渚の駅たてやま	セミナールームへ せかい ひと かいがらひょうほん 世界で一つだけの貝殻標本づくり！ かいがら なまえ ★じぶんであつめた貝殻の名前やとちょうをしらべてつくってみよう！
10:15	なぎさのえき 渚の駅たてやま	おき しま しゅうぱつ バスで沖ノ島へ出発
10:30	おきのしま 沖ノ島	うみ い もの み なまえ 海の生き物をたくさん見つけて名前をおぼえよう！ きの うみ なか しず いそ ★昨日は海の中に沈んでいた磯はどんなところかな？ い もの み ★どんな生き物を見つけることができたかな？ み かん じゅう かんさつにつき か こ ★見たもの、感じたことを自由に観察日記に書き込んで さいごにネイチャーガイドさんのサインをもらおう！ ネイチャーガイドさんからの『まとも』
12:30		
12:50		しゅうぱつ じゅんび しゅうぱつ 出発の準備をしてバスにて出発
13:10	ハイウェイオアシス富楽里	ひる はん きゅうけい お昼ご飯の休憩
16:00	しんじゅく 新宿駅付近	なか バスの中で『まともとふりかえり』 どうちやく 到着！おつかれさまでした！

～3つのやくそく～

- ①元気 (げんき) なあいさつ！
- ②わからないことは質問 (しつもん) しよう！
- ③みんなで楽 (たの) しよう！


1

■観察日記 (参加者用)


観察日記 (かんさつにっき)		観察日記 (かんさつにっき)	
おなまえ		おなまえ	
日時 (にちじ)	2018年 月 日	日時 (にちじ)	2018年 月 日
場所 (ばしょ)	天気 (てんき)	場所 (ばしょ)	天気 (てんき)
み かん 見たもの・感じたこと うみ ようす い もの しよくつ じゆう え ことば きらく (海の様子、生き物、植物・・・自由に絵や言葉で記録しよう)		み かん 見たもの・感じたこと うみ ようす い もの しよくつ じゆう え ことば きらく (海の様子、生き物、植物・・・自由に絵や言葉で記録しよう)	
メモ		メモ	
ネイチャーガイドさんのサイン		ネイチャーガイドさんのサイン	

0 1


運営者マニュアル



海と日本PROJECT 体験モニターツアー In千葉県館山市 夏休みの無人島探検隊！ たくさんの海の生き物を探しにいこう 運営マニュアル



0



海と日本PROJECTとは

海と人と人をつなぐ。

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、とくに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

海と日本PROJECTが推進する5つのアクション

海を学ぼう！ いま海で起きていることは、未来とつながっている。長い年月の中で伝承されてきた海の知恵には、人生を豊かにする、たくさんの気づきとつながっている。海に支えられ、海に生かされている。そのつながりが理解できれば、きっと行動が変わる。海を学ぶとは、「海と自分とのつながり」を感じる。

海をキレイにしよう！ 海にはさまざまなものが流れ着く。海でゴミ拾いをする。たくさんの驚きと発見に出会う。ひとりではなく、多くの人と一緒にゴミ拾いをする。きれいな砂浜をみて、達成感を分かち合えるはかりか、海との関わり方について、それぞれが考えるようになる。海をキレイにするとは、出会いと喜びを創造すること。


海を味わおう！ 普段、何気なく口にする海の食べもの。それらは一体、どこからやってくるのか。今こそ私たちは、海の資源は有限である必要がある。ひとつの料理の背景には、地域の風土に培われた漁業文化がある。私たちは、いつの時代も、これからも、海の命に生かされている。海を味わうとは、海の恩恵に深く感謝すること。

海を味わおう！ 最近、海に行きたくなる。いま日常に開放感が足りないなら、海へ行こう。誰もが時間を忘れ、真っ黒になるまで日焼けをして、くたくたになるまで海で遊ぶ。海には、自分を解放つワクワクと冒険がある。海を体験するとは、海の感分かち合うこと。

海を表現しよう！ 目を閉じて、海の情景をイメージしてみる。どこまでも広がる青、寄せた返す波音、心地よい潮風。まっさらになった心に、みずみずしい好奇心が湧いていく。心に広がる想像力は、いつかまた懐かしい夢を紡ぎ出す。海には、誰をも表現者に変える力がある。海を表現するとは、海から創造する力を入れること。

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 1

1



ツアー設計のポイント①

①「海と日本PROJECT」事業の主旨の理解

(サポートプログラム申請ガイドより抜粋・前略) …世界の人口が急速に増加を続ける中、海洋生物資源の乱獲、生態系のバランス崩壊、海の酸性化、気候変動や自然災害、海産資源の開発競争、海洋権益をめぐる争いなど、海の危機は一刻も刻々と増えています。その上、海の危機は私たちの気づかないところで静かに広がっています。今こそ、海に目覚めよう。日本に暮らす私たち一人ひとりが、海を自分ごととしてとらえ、そして自分ごとからアクションしていくことが求められています。(中略) 全国さまざまな地域で、海との多様なつながりを生かしながら各自の自主性のある取り組みを実施することで、次世代を担う子供や若者を中心として多様な人が海への好奇心を持ち、行動を起こすムーブメントをつくることを目指します。

②PROJECTのアクションが実施できる地域・内容を選定し、PROJECTの目的達成につなげる

アクションA「海を学ぼう」/B「海をキレイにしよう」/C「海を味わおう」/D「海を体験しよう」/E「海を表現しよう」


③(大前提) ツアー参加した親子が楽しく、満足度の高いツアーを提供する

子ども達にとっての満足：学校を基本とする日常体験ではなかなか実現できない、実際に海を守ることに携わる人々との出会い、気づきの場を提供(=知的好奇心の芽生えの体験機会)
保護者にとっての満足：日常なかなか見えない我が子のちょっとした成長(真剣な眼差し、イキイキ活動する姿)に立ち会える瞬間(=子育てで最も保護者が幸せを感じる瞬間)を提供

全体を通して、参加親子が、「海と日本PROJECT」の主旨を理解し、学びをつづけて海を「自分ごと」としてとらえるきっかけを創り出すツアー設計を行う

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 2

2



ツアー設計のポイント

ステップ①

参加した子どもたち、親御さんに
「何(経験・学び等)を持ち帰ってもらいたいのか」
ここを意識してプログラムを構築することが大切です。

ステップ②


子どもたちは興味を持ったことに対して、自ら学んでいきます。
「興味を掻き立てる仕掛けを持つこと」
プログラム内にこの要素を盛り込むことが大切です。

ステップ③

子どもたちに学んでほしいことは、
「親御さんへも伝えること」
そうすることで、ツアーが終了した後も、親御さんから子どもへと学びが受け継がれていきます。

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 3

3



ツアー設計のポイント

ステップ④

「その地域の人との交流があること」

地域の人との交流があることで、その地に、「ゆかり」ができる。「ゆかり」ができると、また行くきっかけが生まれる。これを繰り返すことにより、その地域がどんどん活性化していく。

私たちは、ステップ①～④を通すことで、よりよいツアーを作成することができると考えております。

次ページ以降は、上記を元に作成した実際のツアー内容となります。

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 4

4



全体スケジュール

日	時間	場所	スケジュール
8月27日(月)	09:15	新宿センタービル前にて受付	トイレ・買い物済ませてバスへ(アレルギー・許諾確認)
	09:30~	バス車中	プログラムの説明・行程の確認・館山の海クイズ(例)など
	12:45		途中各自昼食(10分以内)
	12:45	夕日海岸ホテル	「オリエンテーション」にてやま・海辺の鑑定団の皆さんのご紹介と、スライド映写によるプログラム説明
	13:30	ホテル発	
	14:00~16:00	沖ノ島	「無人島を探検しよう！明日の標本用の貝殻をみつけよう！」バスにてホテルへ
16:15	ホテル着	着後、お部屋・夕食・お風呂のご案内と明日の出発までのスケジュール説明等 ※貝殻を洗って乾かしてもらおうのを忘れず	
8月28日(火)	07:00~	ホテル内(場所は当日)	各自朝食
	08:45	ホテル発	バスにて渚の駅跡山へ(到着後、机を並べる)
	09:00	渚の駅跡山	「貝殻標本をつくらう！」 ★昨日拾った貝殻を各自準備！ガイドブック「海辺の生き物語」一家庭一冊配布
	10:15	渚の駅跡山	インストラクター・保護者がフォローしながら調べ学習
	10:30	沖ノ島着	「ネイチャーガイドさんのヒントを手かりに、海の生き物をたくさん見つけて名前をおぼえよう！」
	12:30		★昨日の海の中だった磯にはどんな生き物がいる？インストラクター・保護者フォローのもと観察(休憩は適宜) 最後にインストラクターさんより「まとめ」
	12:50	出発準備を整えバスで出発	昼食休憩後「ふりかえり」(いご-よより) ★体験のふりかえりと、何を学んだか。 マイクをまわし、一人一言ずつ感想を
16:00頃	新宿駅西口 着		

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 5

5

運営者マニュアル

プログラムガイドライン		一般社団法人 次世代価値コンソーシアム Nextgeneration Value Consortium	
時間	スケジュール	詳細	発話例
14:10	バス車内	まともなふりかえり	出発後、スタッフより「まともなふりかえり」さて、皆さんお昼ご飯は美味しかったですか？何を食べましたか？（・・・）はい、ありがとうございます。それではこれから新宿駅に向かっていきますが、ここでもういちど、昨日と今日の3つのプログラムを振り返ってみましょう。1日目、沖ノ島の無人島探検では（・・・・・・）をしました。どうだったかな？そして今日、貝殻の標本をつくってもらいました。楽しかった人？（・・・・・・）大事に持って帰って、楽しかったことを思い出してくださいね。そして最後に磯でいろんな生き物を見つけたね。どんな生き物を見つけたか？（・・・・・・）はい、ありがとうございます。昨日行ったときは海の中だったのに、今日はぜんぜんちがってびっくりしましたね。みんなに選んだ小さな図鑑には、今日見つけた海の生き物たちもついています。おうちに帰ってからでも、もういちどどんな生き物を見つけたか、観察日記と見比べながら思い出してみてください。
		子ども達の感想	では子ども達に、感じたこと、思ったことを一人ずつ発表してもらいましょう！（マイクを回す）ありがとうございます！そして保護者の皆さまへもお願いします。このように、体験したことを親子で振り返ることで、子ども達には「楽しかった忘れられない記憶」が定着することがわかっています。ぜひみなさんの思い出に残るよう、今日の晩ご飯の時でも、もういちどこの二日間を振り返ってみてください。
		アンケート記入	それでは、最後にアンケートのご記入をお願いします。今回は日本（にっぽん）財団さんからのアンケートが2枚と、別のアンケートが1組ございます。日本（にっぽん）財団さんのアンケートは保護者の皆さま用、と子ども達用2種類となっていますので、親子でお話をしながら記入してください。アクアラインを渡り切ったくらいに回収させていただきますので、ご記入がお済みの方は、しばらくゆっくりお休みください。
		回収	バイナター・えんぴつ等の備品も回収
16:00	新宿駅付近	着後解散	それでは、はいはい新宿駅の近くに着きます。みなさん二日間どうでしたか？海がもっと好きになりましたか？またぜひ、今回行った鷗山もそうですが、いろんな海に出かけて、楽しい思い出をつくり、いろんな新しいことを知りたてほしいと思います。それでは、二日間ありがとうございました！（忘れ物・回収物の確認）

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

12

12

緊急体制・連絡		一般社団法人 次世代価値コンソーシアム Nextgeneration Value Consortium	
子ども達が沢山参加するプログラムです。安全管理をご留意ください。			
<p>① 最寄の消防署・警察署</p> <p>② 休日対応可能な医療機関（小児科、内科、外科等） ※ 応急処置のできる救急箱は備品としてご準備いただくと便利です。夏季は冷えピタ等熱中症対策も。</p>			
医療機関にかかる場合			
<ul style="list-style-type: none"> ○ お客様自身で移動できそうな場合はお客様自身で、該当の医療機関に行って頂く。 ○ お客様自身での移動が困難な場合は救急搬送、タクシー等で医療機関に行って頂く。状況により添乗員同行等、現地で判断。 ○ お客様には国内旅行任意保険の加入をすすめております。お客様に保険に入っているか確認し、もし加入済みであれば後日保険会社請求用として各種領収書を保管するようご案内する。 ○ 保険証のコピー等持参で診察いただけるよう事前に主要医療機関には事前申請しておき、当日スムーズな対応になるように工夫する。 			
Copyright © Nextgeneration Value Consortium		Copyright © Nextgeneration Value Consortium	

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

13

13

参加状況

今回の体験合宿には、
計：10名の方にご参加頂きました。

【内訳】

人数：

組数：5組

大人5名、

子供5名(9歳：1名、7歳：2名、6歳：1名、5歳：1名)

お住まい：

東京3組、埼玉1組、千葉1組

年間で海を訪れる回数：

3～5回：4名、10回以上：1名

※保護者の方へアンケートを実施

合宿の様子

集合写真
オリエンテーション
無人島探検・貝がら拾い
(館山 沖ノ島)
貝がら標本づくり
磯観察(館山 沖ノ島)

■合宿の様子

■集合写真



■合宿の様子

■[1日目] オリエンテーション



■合宿の様子

■[1日目] 無人島探検・貝がら拾い (館山 沖ノ島)



■[2日目] 貝がら標本づくり



■[2日目] 磯観察 (館山 沖ノ島)




プレスリリース

■原文

PRESS RELEASE




2018年6月27日(水)

報道関係各位
一般社団法人 次世代価値コンソーシアム



**夏休み最終週、子どもたちが変わる
夏休みの無人島探検隊！in 千葉**
「海育(うみいく)」会館、6月28日(木)から募集開始

一般社団法人次世代価値コンソーシアム(東京都品川区/代表理事:王麗華)は、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」を運営するアクトインディ株式会社(東京都品川区/代表取締役:下元敬道)と共同で、3歳以上の子どもを対象とした体験合宿プログラム「夏休みの無人島探検隊！in 千葉」の参加者募集を6月28日(木)より開始します。この活動は、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人となりがつながる"日本財団「海と日本 PROJECT」"の一環として行っています。

沖ノ島でのイベントイメージ(写真: NPO 法人たてやま・海辺の認定団)

1. コンセプトは、「海を学ぼう！海を味わおう！海を体験しよう！」
現在、自然環境や生物資源など様々な面で「海の危機」が地球レベルで進行しています。「海の危機」は、日本に由来する。四方を海に囲まれた日本は、古来、海と共に社会、文化を形成してきました。しかし、調査によれば若年層に比べて、海への関心が減っています*1。
そこで、次世代を担う子どもたち向けに、海との多様なつながりを理解してもらい、海の危機を自分ごととして捉えるムーブメントをつくることを目的とし、体験合宿プログラムを企画しました。

*1 「海と日本」に関する調査報告書 2017 (日本財団) <https://www.vision-foundation.jp/sea/project/umiku/>

2. 「海育(うみいく)」～海を知り、海で生きる人との触れ合いの場を提供
子どもたちへの関心の減少は、海を知る機会が減少や海と関わる大人が周りにいないことです。弊法人は、鎌倉市で海と関わる方々の力を得て、子どもたちに海の思い出と、人とのつながりを提供。この合宿プログラムは、海を通じた教育であり、子どもたちが「生きる力」を育む「海育(うみいく)」です。

3. 東京から2時間の無人島で開催
合宿の開催地は、東京から2時間で行ける無人島「沖ノ島」。NPO法人たてやま・海辺の認定団の協力の下で安全に実施し、スリリングな体験を子どもたちが味わいます。

【1泊2日 体験合宿プログラムの概要】

イベント名	8/27 夏休みの無人島探検隊！in 千葉 [海と日本 PROJECT]
募集対象	3歳～小学生まで(保護者様のご参加必須) 最大5組様(1組2名様以上5名様まで「うち大人(保護者)1名以上、子ども1名以上」)
開催場所	千葉県鹿野
開催期間	2018年6月28日(木) 14:00～2018年8月12日(日) 15:00
開催日	2018年6月27日(月)～2018年8月28日(火) ※1泊2日
参加料	10,000円(税込) / 大人1名 8,000円(税込) / 子ども1名
集合場所	新大塚駅C・新大塚センタービル1F 正業広場前 〒160-0023 東京都板橋区西新町 1-25-1

交通手段	JR 新大塚駅C徒歩約7分
詳細URL	https://iko-yo.net/event/120267/news/33922
問い合わせ先	株式会社JTB プロモーション事業部 電話: 03-5909-8299

【弊社主催の、本年度開催の体験合宿プログラム】

イベント名	8/21 農村生活体験をしよう！in 青森 [海と日本 PROJECT]
募集対象	8歳～小学生まで(保護者様のご参加必須) 最大5組様(1組2名様以上4名様まで「うち大人(保護者)1名以上、子ども1名以上」)
開催場所	高知県幡豆郡幡豆町
開催期間	2018年6月28日(木) 14:00～2018年8月6日(月) 15:00
開催日	2018年8月21日(火)～2018年8月22日(水) ※1泊2日
参加料	12,000円(税込) / 大人1名 12,000円(税込) / 子ども1名
集合場所	高知県幡豆郡幡豆町 〒783-0096 高知県幡豆町久保58番地 または 道の駅幡豆風見堂 高知県幡豆町 幡豆ICより約10分 [高知県幡豆郡 幡豆町] 幡豆駅より約80分・伊予鉄道より約45分・JR 高知駅よりバス約30分 [道の駅幡豆風見堂] 高知自動車道 幡豆ICよりすぐ
交通手段	高知県幡豆郡幡豆町 〒783-0096 高知県幡豆町久保58番地 または 道の駅幡豆風見堂 高知県幡豆町 幡豆ICより約10分 [高知県幡豆郡 幡豆町] 幡豆駅より約80分・伊予鉄道より約45分・JR 高知駅よりバス約30分 [道の駅幡豆風見堂] 高知自動車道 幡豆ICよりすぐ
詳細URL	https://iko-yo.net/event/120245/news/34004
問い合わせ先	株式会社JTB プロモーション事業部 電話: 03-5909-8299

・その他、神奈川県横浜市でも来月9月に開催予定

【主催団体の概要】

団体名称	一般社団法人 次世代価値コンソーシアム (略称 NVC)
本社所在地	東京都品川区西五反田 1-27-2 ヒューリック五反田ビル 8 階
電話番号	03-6417-0116
代表理事	王麗華
設立	2017年12月
URL	https://nvc.or.jp/
活動内容	次世代に価値を伝える事業の支援、次世代に価値を伝えるネットメディアの運営

共同団体 : アクトインディ株式会社(東京都品川区/代表取締役:下元敬道/2003年創業)
アクトインディ株式会社が運営する、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」について:
子育ての8割が利用する日本最大規模のお出かけ情報サイト・アプリ
子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」 <https://iko-yo.net/>

【海と日本 PROJECTとは】
子どもたちを中心に海への関心や好奇心を喚起し、海の課題解決に向けたアクションの輪を広げること
を目的に日本財団や政府の協力ののもと、オールジャパンで推進するプロジェクト。2017年度には全国
47都道府県で1,500件を超えるイベントを開催した。
海と日本 PROJECT [日本財団] <http://uminochi.jp/>

以上

<取材に関するお問い合わせ先>
一般社団法人 次世代価値コンソーシアム 広報 石原 智(いしはら さとし)。
電話: 03-6417-0116 / 090-1622-4108
メールアドレス: ishihara.satoshi@nvc.or.jp

次世代価値コンソーシアムは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐ
ため、海を介して人と人となりがつながることを目的として、本事業を実施しています。

<体験合宿に関するお問い合わせ先>
株式会社 JTB プロモーション事業部
電話: 03-5909-8299

1
2
3

■配信メディア一覧

No.	掲載日	媒体名	媒体社名	URL
夏休み最終週、子どもたちが変わる夏休みの無人島探検隊！ in千葉				
1	2018/6/27	フレッシュアイ	株式会社スカラコミュニケーションズ	http://news.fresheye.com/article/fenwnews2/1000003/20180627120110_pr_pr000000001-000035412/a/index.html
2	2018/6/27	ORICON NEWS	オリコン株式会社	https://www.oricon.co.jp/pressrelease/334418/
3	2018/6/27	フレッシュアイ	株式会社スカラコミュニケーションズ	https://news.fresheye.com/article/fenwnews2/1000003/20180627112011_pr_pr000000001-000035412/a/index.html
4	2018/6/27	STRAIGHT PRESS	株式会社マッシュメディア	https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000001.000035412
5	2018/6/27	@DIME アットタイム	株式会社小学館	http://dime.jp/company_news/company_news/detail/?pr=329689
6	2018/6/27	MarkeZine(マーケティング)	株式会社翔泳社	https://markeZine.jp/release/detail/915404
7	2018/6/27	日刊工業新聞 電子版	株式会社日刊工業新聞社	https://www.nikkan.co.jp/releases/view/50952
8	2018/6/27	Mart Community Blog	株式会社光文社	http://mc.mart-magazine.com/pressrelease/3?view=34206
9	2018/6/27	とれまが	株式会社サイトスコープ	https://news.toremaga.com/release/others/1140020.html
10	2018/6/27	BEST TIMES(ベストタイム)	株式会社ベストセラーズ	http://best-times.jp/ud/pressrelease_besttimes/5b3310887765610c09100000
11	2018/6/27	暮らしニスタ	株式会社主婦の友社	http://kurashinista.jp/pressrelease/detail/101181
12	2018/6/27	eltha(エルザ)	オリコン株式会社	https://beauty.oricon.co.jp/pressrelease/334456/
13	2018/6/27	Traicy(トライシー)	メディアエージェンシー-有限責任事業組	http://release.traicy.com/archives/20180627117689.html
14	2018/6/27	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000001A000035412
15	2018/6/27	財経新聞	株式会社財経新聞社	http://www.zaikai.co.jp/releases/646042/
16	2018/6/27	ReseMom(リセママ)	株式会社イード	https://resemom.jp/release/prtimes/20180627/44474.html
17	2018/6/27	JBpress(日本ビジネス)	株式会社日本ビジネスプレス	http://jbpres.ismedia.jp/ud/pressrelease/5b33015a7765612eb80c0000
18	2018/6/27	産経ニュース	株式会社産経デジタル	http://www.sankei.com/economy/news/180627/pr1806270136-n1.html
19	2018/6/27	時事ドットコム	株式会社時事通信社	https://www.jiji.com/jc/article?k=000000001.000035412&g=prt
20	2018/6/27	おたくま経済新聞	C.S.T Entertainment,Inc.	http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/000000001-000035412
21	2018/6/27	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog prt000000001000035412_1.htm
22	2018/6/27	マピオンニュース	株式会社マピオン	http://www.mapion.co.jp/news/release/000000001.000035412/
23	2018/6/27	CREA WEB	株式会社文藝春秋	http://creabunshun.jp/ud/pressrelease/5b330f637765610eeb090000
24	2018/6/27	iza(イザ!)	株式会社産経デジタル	http://www.iza.ne.jp/kiji/pressrelease/news/180627/pr18062712470137-n1.html
25	2018/6/27	PRESIDENT Online	株式会社プレジデント社	http://president.jp/ud/pressrelease/5b33015a7765612fe60c0000
26	2018/6/27	BIGLOBEニュース	ビッグロブ株式会社	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0627/prt_180627_2276361421.html
27	2018/6/27	東洋経済オンライン	株式会社東洋経済新報社	http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/5b3301ba7765616f330c0000
28	2018/6/27	現代ビジネス	株式会社講談社	http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/5b3302057765618ced0c0000
29	2018/6/27	ダイヤモンド・オンライン	株式会社ダイヤモンド社	http://diamond.jp/ud/pressrelease/5b33028677656130db0c0000
30	2018/6/27	Cubeニュース	株式会社キューブ・ソフト	http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=284208
31	2018/6/27	30min. サンゼロミニッツ	株式会社イード	http://30min.jp/release/prtimes/detail/82640
32	2018/6/27	SEOTOOLS	ブラストホールディングス株式会社	http://www.seotools.jp/news/id_000000001.000035412.html
33	2018/6/27	NewsCafe	株式会社イード	https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20180627/193687.html
34	2018/6/27	朝日新聞デジタル&M	株式会社朝日新聞社	http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CPRT201850615.html
35	2018/6/27	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	http://www.excite.co.jp/News/release/20180627/Prtimes_2018-06-27-35412-1.html
36	2018/6/27	Infoseekニュース	楽天株式会社	https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000001_000035412/
37	2018/6/27	ニコニコニュース	株式会社ドワンゴ	http://news.nicovideo.jp/watch/nw3624316
38	2018/6/27	ハピママ*	ひあ株式会社	http://urepia.co.jp/articles/-/263176
39	2018/6/27	ウレぴあ総研	ひあ株式会社	http://urepia.co.jp/articles/-/263139
40	2018/7/3	パピルコマガジン	パピルコ	https://nobiru.co/mag/article/7791

メディア掲載

■8月28日 千葉テレビ



8月29日 房日新聞

房日新聞 8月29日 水曜日
 THE BONICHI SHIMBUN 平成30年(2018年) 旧暦7月19日(先勝)
 第19855号 (昭和27年8月23日 第3種郵便物認可)【月曜休刊】

天気	西の風 やや強い 降水 06-12 12-18 18-24 確率 10 20 20 <small>(種子地方気象台)</small>
潮位	満潮 05時37分/18時28分 大潮 干潮 一時一分/12時04分 (布良)

沖ノ島で海の魅力に触れる

館山 体験合宿に親子ら10人

館山市沖ノ島で27、28日の2日間、海に親しむ体験合宿プログラム「夏の休みの無人島体験」...



若い世代の海に親しむ機会が減る中、子どもたちが海に親しみ、海に関わる人と触れ合う機会を提供し、海を好きになってもらうことを企画。同社では、子ども向け「卒業」があった、子どもと親が一緒に出かけ情報サイト「いこーよ」を運営する「アクトインティ」(東京都品川区)が主催。都内などから参加した親子ら10人が、海の生き物探しなど海の魅力に触れた。

都内発着のツアーで、東京都、千葉、埼玉から保育園、小学生親子が参加。NPO法人たてやま海辺の館定団のメンバーの案内で、初日は沖ノ島を探検して貝殻拾いを楽しみ、2日目は貝殻標本をつくった後、島の生き物探しをした。網を片手に干潮の海に入った子どもたちは、エビやカニ、ヤドカリ、小魚などを見つけて歓声。埼玉川口市から参加した小学3年の女子児童は「エビが一度にたくさん取れて楽しかった」と喜んだ。

アクトインティのイベント担当・石原智さんは「南房総エリアは、都心からも近く、都会の子も自然と触れ合う機会をつくってほしい」と話していた。

わたしたち自然を体験してもらったのに適した環境。館山は海もきれいで穏やか。ガイドの方も親切で、子どもたちからも『海が好きになった』と好評だった。今後も規模を拡大して継続的な開催を検討し、子どもたちが房総の自然と親しむ機会をつくってほしい」と話していた。

実施結果

以下、補足情報 (アンケート結果等)

●全体満足度

大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない
2	1	1	0	0

そう思う合計=4/4人 (100%)

アンケートの結果より、本体験合宿の内容は、参加者にとって高い満足度を得ることができました。

※本アンケートは保護者の方へ実施

●海に対する気持ちの変化

- 子どもたちの変化

ツアーが始まったばかりの時は、質問が少なかったですが、本体験合宿が進むにつれ、コーディネーターの方へ積極的に質問をするようになっていました。

またアンケートの結果より、「子供にも海について勉強できる機会ができてよかったです」「海を身近に感じられたようで良かったです」とのお声を頂きました。

- 保護者の変化

「磯観察」は初めてという方もおり、子どもたちと一緒に積極的に参加されている姿がありました。またアンケートの結果より、「海がもっと好きになりました」という声を頂きました。

- 参加者全体

海にまた行きたいかどうかという点については、参加者全てが「行ってみたい」という声を頂きました。

上記より、本体験合宿をとおして、参加者の海への興味・関心が高まったと考えております。

■実施結果

●海の環境問題に関する関心

-子どもたちの変化

「大人になったらもういないかもしれない海ほたるの体験ができてよかったです」という声があり、
環境が悪化することにより、海の生き物がいなくなってしまうということを知り、
環境を大切にすることの意識向上を行うことができたと考えております。

-保護者の変化

「普段、図鑑でしか触れることがない海の生き物に直接触れることにより、
『生きている』ということを知ることができてよかった」という声がありました。

上記より、本体験合宿をとおり、環境問題に関する関心を高めることができたと考えております。

●参加者の生の声

-子どもたちの声

- ・テッポウエビなどがいて、(磯には)いろいろな生き物がいることがわかった。
- ・魚を捕まえるのは難しかったけど、生き物に触れることは楽しかった。

-保護者の声

- ・子供たちが自然・生き物に触れることで、どんどんたくましく成長することを感じることができて良かった。
- ・このような機会があったら、また参加したい。
- ・自然環境を守ることの大切さを学んだ。子どもたちにとって良い環境を残していきたいと思った。

■実施結果

●個別プログラムの評価

無人島探検	大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない	思わない	全く 思わない	
子どもにいいと感じた	3	1	1	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)
人に薦めたいと思う	2	2	1	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)
また参加したい	4	0	0	1	0	0	0	そう思う合計=4/5人 (80%)

貝殻標本づくり	大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない	思わない	全く 思わない	
子どもにいいと感じた	2	2	1	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)
人に薦めたいと思う	2	2	1	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)
また参加したい	2	2	1	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)

海の生き物探し	大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない	思わない	全く 思わない	
子どもにいいと感じた	3	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)
人に薦めたいと思う	2	3	0	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)
また参加したい	2	3	0	0	0	0	0	そう思う合計=5/5人 (100%)

アンケートの結果より、各個別プログラムの内容は、参加者にとって高い評価を得ることができました。

※本アンケートは保護者の方へ実施

横須賀体験合宿時の内容

スケジュール

日程
集合場所・時間
開催場所
宿泊先

- 日程 2018年9月8日(土) ~ 9月9日(日) 1泊2日
- 集合場所・時間 新宿駅西口センタービル1F正面玄関前 7:45集合
- 開催場所 神奈川県横須賀市
- 宿泊先 マホロバ・マインズ三浦
(神奈川県三浦市南下浦町上宮田3231)

<一日目>

- 7:45 新宿駅西口センタービル1F正面玄関前に集合
- 8:00 バスで出発。横須賀市へ
- 9:30 観音崎自然博物館着
★磯遊び、生き物採集、観察、浦賀水道観察など
※プログラム途中に昼食をとります
- 16:30 マホロバマインズ三浦(ホテル)着 自由行動

<2日目>

- 5:00 バスで大楠漁協へ
- 5:30 大楠漁協着
★海から食卓まで、魚はどうやって届くの？
★大楠漁協・佐島漁港を見学、定置網船入港！
水揚げされた魚を見よう！
- 7:00 一度ホテルに戻り朝食・チェックアウト
- 8:30 ふたたび大楠漁協へ
- 9:00 大楠漁協・佐島漁港
- 11:00~ 佐島網元 平敏丸
- 13:30 ★漁師さんと一緒に「真蛸の活けじめ」「湘南釜揚げシラスづくり」
★昼食：相模湾のごちそう、「漁師ごはん」をいただきます！
- 16:00頃 大楠漁協発 お世話になりました！
- 17:30頃 新宿駅西口にて解散

制作物

いこーよ 集客用ページ
いこーよ イベントレポートページ
横須賀クイズ
体験合宿主旨 (参加者用)
スケジュール (参加者用)
体験ノート (参加者用)
生き物シール (参加者用)
運営者マニュアル

■いこーよ 集客用ページ

<https://iko-yo.net/events/122973/news/34733>

9/8（土）3歳から親子で海の大冒険！海のキッズ探検隊@横須賀のお知らせ

2018年07月12日 15時10分

親子で海の大冒険バスツアー！in横須賀

★親子で海の探検隊@横須賀★

※本イベントは募集を締め切りました



子どもたちが『海のキッズ探検隊』として、磯遊び、海の生き物採集を通し、"ワクワク"冒険しながら、わからないことを探求していきます！もちろん"海のプロ"と一緒に！

■いこーよ イベントレポートページ

<https://iko-yo.net/events/122973/news/38106>

【イベントレポート】

神奈川県横須賀市で、親子で海の大冒険！海のキッズ探検隊！

こどもたちが『海のキッズ探検隊』として、磯遊び、海の生き物採集を通し、""ワクワク""冒険しながら、わからないことを探求し学びにつなげていきます！

一般社団法人次世代価値コンソーシアム（東京都品川区/代表：王麗華）は、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」を運営するアクトインディ株式会社（東京都品川区/代表：下元敬道）と共同で、海を学ぼう！海を味わおう！海を体験しよう！をコンセプトに、1泊2日の神奈川県横須賀市での体験合宿プログラム「3歳から親子で海の大冒険！海のキッズ探検隊@横須賀[海と日本PROJECT]」を開催しました。



■制作物

■横須賀クイズ

※一部抜粋



なまえを、知っているかな ③



■体験合宿主旨 (参加者用)

はじめに (お子様)



日本財団「海と日本プロジェクト」とは

海と日本プロジェクトってみんなしてるかな。
みんなの周りには海があって遊んだり、海のお魚を食べたり海はみんなの生活を支えているの。
でも、人間のせいで海が汚れたり、お魚が減ったりして海に元気がなくなってるの。
みんなに海が困ってることを知ってもらって、みんなで海を助けて、
元気な海を未来に残そうとすることが、日本財団がやっているプロジェクトだよ。

今回はこんなことを学ぶよ！

- ①相模湾の魚が海から食卓までどう届くのかを知ろう
- ②東京湾の生き物、役割について知ろう
- ③身近な海の様々な異変とその理由を知ろう
- ④大切な海を守るために様々な工夫、取組が行われていることを知ろう
- ⑤100年先もたくさんの魚や生き物が住み続けられる海であるように、海を守るためにできることを考えよう

0

3歳から親子で海の大冒険！海の子探検隊@横須賀 はじめに (保護者様)



日本財団「海と日本プロジェクト」とは

日本財団「海と日本プロジェクト」とは、2015年に「海の日」20回目を記念し、日本財団の主導で推進しているプロジェクトです。次世代を担う子どもたちを中心として多くの方々に「海の日」の意義について認識を深めてもらうとともに、海への好奇心を持ってもらい、行動を起こすムーブメントを作り出すことを目指しています。

今回はこんなことを学びます！

- ①相模湾の魚が海から食卓までどう届くのかを知ります。
- ②東京湾の生き物、役割について知ります。
- ③身近な海の様々な異変とその理由を理解します。
- ④大切な海を守るために様々な工夫、取組が行われていることを知ります。
- ⑤100年先もたくさんの魚や生き物が住み続けられる海であるように、海を守るためにできることを考えます。

ぜひ今回のツアーで得られました学びや、気づきを、お子様へ引き継いでいってもらえたら幸いです。

1

■スケジュール (参加者用)

スケジュール << 9/8 >>



じかん	ばしょ	スケジュール
9/8 (土)	7:45 新宿駅西口	まえ しゅうこう センタービル前に集合 トイレをすませておこう！
	8:00 新宿駅	みうらはんどう よこすか しゅうぱつ 三浦半島・横須賀市にむけて出発！ せつめい じこしょうかい とちゅうきゅうかい バスのなかで、きょうのルール説明や、自己紹介タイム (途中休憩) よこすか ちようせん ★横須賀クイズに挑戦しよう！
	9:30 観音崎自然博物館	うみ たんけんたい たいけん ちようせん 海のキッズ探検隊としてミッションにいろいろな体験に挑戦しよう！ かんのんざきしぜんはくぶつかん はなし きが 観音崎自然博物館でオリエンテーション (お話と着替え)
	10:20	とうきょうわん し ミッション①「東京湾の自然について知ろう」 とうきょうわん い もの いそ かんさつ い もの さが ★東京湾にはたくさんの生き物がいるよ！磯の観察をしよう！生き物を探そう！ い もの き ★生き物のおはなしを聞こう！ じゅうあそ じかん ★自由遊びの時間
	12:00	べんどう ちゅうしよく ★お弁当の昼食
	12:20	
	13:00 観音崎自然博物館	よこすか うみ やくわり し ミッション②「横須賀の海のいろんな役割について知ろう」 とうきょうわんうらがすいどう にほんいち たくさん おお ふね とお ふね どうろ ふね かんさつ ★東京湾・浦賀水道は日本一沢山の大きな船が通る船の道路！船を観察しよう！ かんのんざきしぜんはくぶつかん じゅうけんがく ★観音崎自然博物館を自由見学しよう！
	14:00	よこすか うみ い もの し ミッション③「横須賀の海の生き物について知ろう」 せかい かいそう ★世界で1つの「海藻うちわ」をつくろう！ じかん まとめの時間
	15:30	かんのんざきしぜんはくぶつかんしゅうぱつ 観音崎自然博物館出発。ホテルへ
	16:30 マホロバマインズ三浦	ちやく ホテル着 みうら しゅうはく マホロバマインズ三浦 宿泊

0

スケジュール << 9/9 >>



じかん	ばしょ	スケジュール
9/9 (日)	5:30 マホロバマインズ三浦	しゅうぱつ さじま おおぐすぎきょう ホテル出発。佐島・大楠漁協へ おおぐすぎきょう けんがく
	6:00 佐島・大楠漁協	ミッション④「大楠漁協を見学しよう」 うみ しよくたく さかな とど さかな みずあ りょうし ふね ★海から食卓まで、魚はどうやって届くの？魚の水揚げ、漁師さんの船をけんがく 見学しよう！
	7:00	ちようしよく
	8:00 マホロバマインズ三浦	ホテルにもどって、朝食
	8:45	しゅうぱつ さじま おおぐすぎきょう ホテル出発。佐島・大楠漁協へ おおぐすぎきょう しごと てつた
	9:15 佐島・大楠漁協	ミッション⑤「大楠漁協の仕事のお手伝いをしよう」 たい あいず かね しごと ★セリ台にのって、セリスタートの合図「鐘ならし」の仕事をしよう！ みずあ さかな ★タッチプールで水揚げされた魚をさわってみよう！ しんせん さかな とど さかな こおり しごと ★新鮮なお魚が届きますように！魚を氷づけにする仕事をしよう！ おおぐすぎきょうしゅうぱつ ひらとしまる 大楠漁協出発。平敏丸へ
	10:45	
	11:00 ひらとしまる 平敏丸	うみ めぐ まだこ い しょうなんかまあ どん ミッション⑥「海の恵みをいただく！真鯛の活けはじめ・湘南釜揚げしらす丼」 ちようせん ちゅうしよく た づくり挑戦しよう！昼食を食べよう！ ひらとしまるしゅうぱつ おおぐすぎきょう 平敏丸出発。大楠漁協へ
	13:30	
	13:45 佐島・大楠漁協	よこすか うみ み たいけん ミッション⑦「横須賀の海でどんな「タカラモノ」を見つけた？体験ノートにまとめよう！」 み ミッション⑧「まとめとふりがえり〜どんな「タカラモノ」を見つけたか、みんなで発表しよう！」 はっぴよう
	14:45	か もの じゅうさんさく 買い物と自由散策
	15:30	しんじよく バスにて新宿へ
	17:30 新宿駅付近	とうちやく 到着！おつかれさまでした！

1

体験ノート(参加者用)



■ 生き物シール

いきものしよぶつシール（とうきょうわん）①

よこすかのうみの「いきものずかん」をつくろう！

「とうきょうわん」の「うみべ」にはたくさんの「いきもの」がくらし、しよぶつもそだっているよ。
いきもの、しよぶつ、いくつみつけられたかな？
みつけたばしょ、おおきさ、さわったかんじ、いろ、うごきかた、などきづいたことも、おうちのひとと、おはなししてかいておこう。
きょう、みつけたものは「とうきょうわん」の「たからもの」。
むかしは、たくさんいたのに、いまは、へったもの、むかしは、いなかったのに、いまはふえたものは、なんだろう？ どうしてだろう？

くろいそかいめん	しろがや	くもひとで	みずくらげ
よろいそぎんち	きぬばり	なべか	はおこぜ

【保護者の方へ】子ども達と会話しながら、観察時の体験を振り返り、「体験ノート」のP7～P12を使って、観察記録をまとめてください。遠慮子ども達の声を聞き、必要に応じて加筆していただき、完成させてください。

いきものしよぶつシール（とうきょうわん）②

あおうみうし	まんじゅうほや	ひざらがい	ひらいそがに
いとまきひとで	くろふじつほ	ひらわつなきそら	れいし
おうぎがに	やつでひとで	あなあおさ	べにつけぎんぼ
きぬかじか	まくさ	あらめ	ばふんうに

0 1

いきものしよぶつシール（さがみわん）①

「さがみわん」はさかなだけでも1300しゅるのいいじょうの「さかな」がいるよ。
いくつみつけられたかな？
○だいいじょうきな「さかな」

まあじ	まだい	ごまさば	まだこ
しらす	○9がつによくみられる「さかな」	さわら	いなだ
まいわし	しこいわし（かたくちいわし）うるめいわし	まるそうだ	
いさき	まんぼう	しいら	はち

いきものしよぶつシール（さがみわん）②

おおきさ、さわったかんじ、いろ、きづいたことをかいておこう。さかなのとくちようによって、さかなの「とりかた」があるよ。りょうさんのよびかたがちがう「さかな」もあるね。


かえるあんごう	かじきまくろ	ひしがに	うつほ
ゆうれいいか	たつのおとしご	くるまだい	

さがみわんで、ふえすぎてしまってこまっている「いきもの」。いろいろなもんだいがおきているよ。


あいご	がんがぜ
-----	------

2 3


運営者マニュアル



海と日本PROJECT 体験モニターツアー In神奈川県横須賀市 親子で海の大冒険！ 海のキッズ探検隊@横須賀 運営マニュアル



0



海と日本PROJECTとは

海と人と人をつなぐ。


さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

海と日本PROJECTが推進する5つのアクション

海を学ぼう！	いま海で起きていることは、未来とつながっている。長い年月の中で伝承されてきた海の知恵には、人生を豊かにする、たくさんの気づきとつながっている。私たちは、海に支えられ、海に生かされている。そのつながりが理解できれば、きっと行動が変わる。海を学ぶとは、「海と自分とのつながり」を感じる。
海をキレイにしよう！	海にはさまざまなものが流れ着く。海でゴミ拾いをすると、たくさんの驚きと発見に出会う。ひとりではなく、多くの人と一緒にゴミ拾いをすると、きれいになった砂浜をみて、達成感を分かち合えるばかりか、海との関わり方について、それぞれが考えるようになる。海をキレイにするとは、出会いと喜びを創造すること。
海を味わおう！	普段、何気なく口にする海の食べもの。それらは一体、どこからやってくるのか。今こそ私たちは、海の資源は有限であると知る必要がある。ひとつの料理の背景には、地域の風土に培われた漁業文化がある。私たちは、いつの時代も、これからも、海の命に生かされている。海を味わうとは、海の恩恵に深く感謝すること。
海を味わおう！	最近、海に行っただろうか。いま日常に開放感が足りないなら、海へ行こう。誰もが時間を忘れ、真っ黒になるまで日焼けをして、くたくたになるまで海で遊ぶ。海には、自分を解放つワクワクと冒険がある。海を体験するとは、海の感をつかち合うこと。
海を表現しよう！	目を閉じて、海の情景をイメージしてみる。どこまでも広がる青、寄せては返す波音、心地よい潮風。まっさらになった心に、みずみずしい好奇心が湧いていく。心に広がる想像力は、いつかまた懐かしい夢を紡ぎ出す。海には、誰もが表現欲に駆られる力がある。海を表現するとは、海から創造する力を手に入れること。

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

1



ツアー設計のポイント①

①「海と日本PROJECT」事業の主旨の理解

(サポートプログラム申請ガイドより抜粋・前略)・・・世界の人口が急速に増加を続ける中、海洋生物資源の乱獲、生態系のバランス崩壊、海の酸性化、気候変動や自然災害、海底資源の開発競争、海洋権益をめぐる争いなど、海の危機は一層深刻さを増しています。その上、海の危機は私たちの気づかないところで静かに広がっています。今こそ、海に囲まれた国、日本に暮らす私たち一人ひとりが、海を自分ごととしてとらえ、そして自分自身でできることからアクションしていくことが求められています。(中略) 全国さまざまな地域で、海との多様なつながりが発生しながら独自性のある取り組みを実施することで、次世代を担う子供や若者を中心として多様な人が海への好奇心を持ち、行動を起こすムーブメントをつくることを目指します。

②PROJECTのアクションが実施できる地域・内容を選定し、PROJECTの目的達成につなげる

アクション「A」海を学ぼう／「B」海をキレイにしよう／「C」海を味わおう／「D」海を体験しよう／「E」海を表現しよう


③(大前提) ツアー参加した親子が楽しく、満足度の高いツアーを提供する

子ども達にとっての満足：学校を基本とする日常体験ではなかなか実現できない、実際に海を守ることに関わる人々との出会い、気づきの場を提供(=知的好奇心の芽生えの体験機会に)
保護者にとっての満足：日常なかなか見れないわが子のちょっとした成長(真剣な眼差し、イキイキ活動する姿)に立ち会える瞬間(=子育てで最も保護者が幸せを感じる瞬間)を提供

全体を通して、参加親子が、「海と日本PROJECT」の主旨を理解し、学びをつうじて海を「自分ごと」としてとらえるきっかけを創り出すツアー設計を行う

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

2



ツアー設計のポイント

ステップ①

参加した子どもたち、親御さんに
「何(経験・学び等)を持ち帰ってもらいたいか」
ここを意識してプログラムを構築することが大切です。

ステップ②


子どもたちは興味を持ったことに対して、自ら学んでいきます。
「興味を掻き立てる仕掛けを持つこと」
プログラム内にこの要素を盛り込むことが大切です。

ステップ③

子どもたちに学んでほしいことは、
「親御さんへも伝えること」
そうすることで、ツアーが終了した後も、親御さんから子どもへと
学びが受け継がれていきます。

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

3



ツアー設計のポイント

ステップ④

「その地域の人との交流があること」


地域の人との交流があることで、その地に、「ゆかり」ができる。「ゆかり」ができると、また行くきっかけが生まれる。これを繰り返すことにより、その地域がどんどん活性化していく。

私たちは、ステップ①～④を通すことで、よりよいツアーを作成することができると考えております。

次ページ以降は、上記を元に作成した実際のツアー内容となります。

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

4



全体スケジュール (WEB記載)

(1) 魚が海から食卓までどう届くのかを知ることができます。
(2) 東京湾、相模湾の生き物、役割について知ることができます。
(3) 身近な海の様々な異変とその理由を理解し、海を守るために様々な工夫、取組が行われていることを知ることができます。
(4) 100年先もたくさんの魚や生き物が住み続けられる海であるように、海を守るためにできることを考え、まとめることで、「海と共生する」ことが大切であることを気づきます。

日	時間	場所	スケジュール
9月8日(土)	07:45	新宿センタービル前にて受付	トイレ・買い物済ませてバスへ(アレルギー・許諾確認) ※センタービル営業時間(7:00～臨時休業ないか確認)
	08:00～9:30	バス車中	プログラムの説明・行程の確認・横須賀クイズ(例)など
	09:30	観音崎自然博物館着	ミッション①「横須賀の海 東京湾の自然について知ろう」 (水着に着替えて磯遊び・生き物採集) ミッション②「横須賀の海のいろんな役割について知ろう」 (浦賀水道の船の観察) ミッション③「横須賀の海の生き物について知ろう」 (顕微鏡での観察・図鑑を使った調べ学習) ※昼食は、大船軒のお弁当をデリバリー(12:00)
	15:30	観音崎自然博物館発	
	16:15	マホロバマインズ三浦 着	着後、夕食(17:30より)
9月9日(日)	05:00	ホテル発	館内のご案内と明日の出発までのスケジュール説明
	05:30	佐島・大楠漁協着	佐島漁港へ
	06:30		ミッション④「海から食卓まで、魚はどうやって届くの?イセエビ、マアジ、イワシなどの地魚も豊富な大楠漁協を見学しよう」 見学後、いったんホテルへ戻る 朝食後、各自チェックアウト 再び大楠漁協へ
	07:00		ミッション⑤「大楠漁協の仕事のお手伝いをしよう」
	08:30	ホテル発	
	09:00	佐島・大楠漁協着	ミッション⑥「海の恵みをいただく!漁師さんと一緒に『真鯛の活けじめ』『湘南釜揚げしらすづくりに挑戦しよう』※そのまま昼食
	11:00	佐島・平敏丸	ミッション⑦「横須賀の海でどんな『タカラモノ』を見つけた?体験ノートにまとめてよう」 ミッション⑧「まとめとふりかえり〜どんな『タカラモノ』を見つけたか、みんなで発表しよう」 お買い物・散策
	14:45	佐島周辺	
15:30頃	バスで出発		
17:30頃	新宿駅西口 着		

Copyright © Nextgeneration Value Consortium

5

制作物

運営者マニュアル

配布物・備品等

受付時：参加者名簿・バス座席表（A3貼付用・ガムテープ）
※食べ物のアレルギー確認、子ども達の名前や年齢の確認
※できるだけ前方でかためて席を指定する
※参加世帯数3世帯9名 + スタッフ3名 + メディア2名1名
こども3歳男の子、4歳女の子2名

乗車後：子ども 名札・油性マジック2本（黒）
バンダー（10個）えんぴつ・体験ノート（子どもの人数分）
スケジュール（A4で1枚）
アンケート用紙（海プロ事務局様よりご提供）

保護者）アンケート用紙（海プロ事務局様よりご提供）
独自アンケートフォーム・バンダー・ボールペン

いこーよ：色鉛筆・はさみ・のり・セロハンテープ・白シール他通常備品より選別
横須賀クイズ（スケッチブックで制作）
生き物シールセット（磯遊び、漁協の水揚げの魚、特産品⇒真鯛、湘南シラス）
PROJECT横断幕・記録用カメラ

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 6

6

詳細スケジュール(2日目)

時間	スケジュール	詳細	目的・ポイント	担当
5:30	ホテル発	・佐島 大橋漁協へ出発		大橋漁協 新倉さん
6:00~ 7:00	佐島 大橋漁協 「大橋漁協を見学しよう」	・大橋漁協新倉さん自己紹介、 佐島、漁協の紹介 ・仕事場、水揚げの様子見学	朝食前の時間のプログラム 「大橋漁協を見学しよう」 ・大橋漁協は横須賀の2つの海の1つ相模湾側にあること、どんな魚が主に水揚げされる場所かを説明（西の明石、東の佐島といわれている夕の魚はなしも） ・大橋漁協の仕事場を見学（役割、働いている人の数やせりの時間、漁協の人の仕事の流れ、海⇒水揚げされた魚⇒食卓までの流れ）全体像を簡単に説明し、子ども達がイメージしやすいようにする。 ・末就学児ばかりなので、水揚げの様子、漁船、活魚ある市場内を沢山見せて、説明より全体でワクワク感を感じられるような運営	
7:30	ホテルにて朝食			
8:45 9:15	ホテル発 佐島 大橋漁協 「大橋漁協の仕事のお手伝いしよう」	・ゼリ台に乗って、ゼリスタートの合図で回遊の仕事を ・タッチプールで活魚を観察 ・水揚げされた魚を実際にさわってみ ・魚の名前を覚えてもらう ・製氷機から氷をもってきて、氷をつめる仕事 ・トイレ休憩（15分）	バスの車中で、体験内容の説明とルール説明を完了する ・「大橋漁協の仕事のお手伝いしよう」 ・活魚のゼリは9:30スタート必須のため、9:15着でスタンバイ ・子ども達に「運ばし」のやり方をお手本を見せて説明。順番に運ばし ・活魚のいけす（タッチプール）へ移動し、水揚げされた魚を説明。どんな料理に使われるのか、魚の特徴などもあれば説明。対話形式。魚によって住んでいる場所が違うから、さわったときの感覚がどうなるかを説明して実感させる。この魚のえさはこの魚が持っている、生態系があること、でもそれによって海が保たれていること、でも最近はアイゴなど食害が海の環境になっていることは保護者向けにお話しする。 ・海のめぐみである魚、海藻などをとる仕事があること、おうちで食べる魚がおうちに届くまでいろいろな人が関わっていることを仕事体験を通して子ども達に気づかせる。 ・「真鯛の活メ」 ・「平鮎丸」の漁師さんの仕事（何時に起きて、何時に仕事に行き、何をするか） ・水揚げされた横須賀の特産品の1つ「真鯛」を実際に活メにする（60分） ⇒ホモへの道具、加工場、漁師さんと、対話しながら五感体験を重視して運営 ⇒とれたてタコ、タコから揚げも準備	大橋漁協 新倉さん
10:45 11:00~ 12:45	平鮎丸へ 平鮎丸 「真鯛の活メ」 「湘南産揚げシラスを使った昼食作り」	・紐を引っ張っていけすからタコをあげる ・タコの活メは1世帯1ばいずつで、塩もみして、お土産で持帰る状態まで加工する ⇒めうち、はらわたをとる、塩もみしたドラムにたこをいれる、塩もみした水で洗う、袋に入れる、発泡スチロールに入れる	・「真鯛の活メ」 ・「平鮎丸」の漁師さんの仕事（何時に起きて、何時に仕事に行き、何をするか） ・水揚げされた横須賀の特産品の1つ「真鯛」を実際に活メにする（60分） ⇒ホモへの道具、加工場、漁師さんと、対話しながら五感体験を重視して運営 ⇒とれたてタコ、タコから揚げも準備	平鮎丸 平野さん
12:45~ 13:30 13:45~ 14:45	昼食と買い物 佐島へ 大橋漁協 2F 会議室で まとめ	⇒めうち、はらわたをとる、塩もみしたドラムにたこをいれる、塩もみした水で洗う、袋に入れる、発泡スチロールに入れる ・湘南しらすを使った昼食作り ⇒不漁だが、昼食分は確保済み ・30分作業し、15分まとめ	・「横須賀の海で見つけたタカラモノを体験ノートにまとめるプログラム開始」 ・体験ノートと生き物シールを使って、まとめの作業 ・タカラモノの思い出を1つ選んで「白いシート」にお話かきする（親子で共同作業） ⇒保護者が絵を描いて子どもが塗る、子どもの絵に親がコメントを書くなど ・「まとめふりかえりタカラモノ発表」プログラム開始 ・1人ずつ子ども達の体験ノートを発表する。（まとめ後、15:30頃まで買い物自由散策）	いこーよ 新倉さん

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 8

8

プログラムガイドライン② (導入)

時間	スケジュール	詳細	発注例	
9:00~	車内オリエンテーション	⑤参加者自己紹介	⑤では、今は一緒に参加する子ども達にも自己紹介してもらいたいと思います。今回は●●県、西は●●県までいろいろなところに住んでお友達、それから●●歳から●●歳までの学年のお友達で全部で3名、お父さんお母さんを入れると全部で9名参加してくれています。みなさん、先ほど名札を渡しましたね。ぜひお互いに自己紹介しましょう。自己紹介のやり方を説明します。前からマイクを回していきます。学年、お名前をみんなに教えてあげてください。それから、今回のツアーでこんなことを楽しみたいよ！なんていうことがあったら是非教えてください。いいですか？では前から行きたいと思います。 →子ども達にマイクを渡しながらすすめる。自己紹介してくれたら、「●年生の●●さんです。よろしくお話しします」を復唱してあげる。子ども達によっては声が小さくて聞こえないこともあるので、スタッフがサポート。自己紹介を頑張ってもらって、子ども達もいるので、おわったら、マイクをもらいながら「ありがとう」と声掛けてあげる。みなさん、ありがとうございました。	
9:00~	横須賀クイズ	⑦横須賀のクイズ それでは、これから行く「横須賀」というところを皆さん知っていますか？どんなところが、クイズをやってみようと思います。⇒到着30分前をめやすに開始する ★クイズ① ★クイズ② ★クイズ③ それでは、新着を出てから●●時間くらいたつたところですが、きょうの体験をする「観音崎自然博物館」に到着します。駐車場で車をいじょうぶん注意してください。（準備の案内等）		

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 10

10

詳細スケジュール(1日目)

時間	スケジュール	詳細	目的・ポイント	担当
9/8 (土) 07:45	受付 バス乗車	新宿センタービル正面玄関	・お名前チェックと挨拶 ・アレルギー・写真・TV撮影含む許諾の確認 ・バスの駐車場と出発時間、バス座席・トイレ・コンビニのご案内	いこーよ
08:00~	バス出発 ※途中休憩は原則ないが、緊急時は大黒または横須賀PAで短時間休憩	スタッフの紹介 スケジュール等の説明 参加者自己紹介	バス乗務員より挨拶と、車中での注意事項 ①参加前アンケート配布・回収・全体スケジュール、合宿ルール、海と日本PROJECTの概要と目的、子ども達の立ち位置とミッションの説明 ②参加の子と自分の自己紹介（マイクをまわす） ③一方通行ではなく、対話形式の運営により、子ども達の緊張をほぐす ④休憩箇所（必要な場合）では乗務員と連携し交通事故に細心の注意を ⑤途中で「横須賀クイズ」の実施	いこーよ
09:30~ 10:00	観音崎自然博物館着 特別展示室にて オリエンテーション	学芸員さん自己紹介 観音崎自然博物館の紹介 滞在中スケジュール説明 ルールの説明 着替え 浜辺に移動 磯の観察 生き物採集 生き物の説明 自由散策（砂浜で遊ぶ、貝殻を集めるなど）	・観音崎自然博物館の学芸員の皆さんの紹介と「オリエンテーション」 ・子ども達の興味喚起につながるわかりやすい自己紹介（●●名、こんなことが得意！など） ・横須賀の海は2つある⇒今いるのは観音崎で東京湾の海⇒東京湾の海、自然、生活のつながりがわかる観音崎自然博物館とは？全体像から説明をすることで、子ども達がイメージしやすいようにする ・滞在中のスケジュール概要を紹介（詳細は不要） ・生き物をよく見るためのルール、ケガをしないようにするためのルールを説明 「横断幕を広げての記念撮影」のタイミング確認 ・「東京湾の自然について知ろう」プログラム開始 ⇒時間管理をしながら、子ども達の様子を見ながら適宜進行 ⇒3~4歳児なので、極力難しい説明ではなく、五感体験重視 ⇒親子体験を進めながら、参加親子同士も仲良くなるような対話重視の運営	観音崎自然博物館 山田さん
10:00~ 10:20				
10:20~ 12:00	「東京湾の自然について知ろう」			
12:00~ 13:00	昼食			
13:00~ 13:20				
14:00~ 15:00	「横須賀の海の生き物について知ろう」			
15:00~ 15:30	まとめ 物販			
16:30頃	ホテル着			

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 7

7

プログラムガイドライン① (導入)

時間	スケジュール	詳細	発注例
07:45	集合・受付 出発	バス乗車	※名前を聞く、子どものアレルギー・写真・テレビ取材の許諾について再確認。バスの場所を伝え、トイレを済ませてもらう。 ※座席が決まっていることをご案内し、該当の座席に案内していただく。 ※冒頭、バスガイドさんより自己紹介と車中の注意喚起
08:10頃 ~	車内オリエンテーション	①スタッフ自己紹介 配布物の確認	※名札シール、スケジュール、バンダー、えんぴつ、アンケートとボールペン（保護者）を配布 ※名札シールは自分の名前（呼んでもらいたくないニックネーム）をマジックで書いてもらう。保護者は名札のみでもOK ※配布物の確認 ①みなさん、おはようございます！このたびは「海と日本（いこーよ）」PROJECT 体験モニターツアー in 神奈川県横須賀市観音崎で海の大冒険！キッズ探検隊「横須賀」にご参加いただき、ありがとうございます。私は子ども達みんなが楽しくたまたま発見があるように、お手伝いさせていただきます。スタッフの○○○と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
		②参加前アンケート記入と、海と日本PROJECTの説明と、子ども達の抱いの共有	②まず、さっそくですが、お配りしたアンケートへのご記入をお願いします。保護者の皆さまに「before」と書いてあるもの1枚、そして子ども達にも「さんかまにかいてね」というものが枚あります。お手数ですが、ご記入をお願いします。（回収後）ご協力ありがとうございました。まずは皆さんへ、本日まで参加いただいているツアーについてご説明します。このツアーは、先ほどのアンケートにも書いてありましたが、「日本（いこーよ）」財団がおこなっている「海と日本（いこーよ）」PROJECTの企画の1つです。「海と日本（いこーよ）」PROJECTとは、2015年に「海の日」120回目を記念して始まり、日本は海に囲まれている国です。海と昔から仲良くして、くらしてきて、そしてこれからも大切に守りながら、仲良くしていかなくてはなりません。海と日本PROJECTでは、私たちがとって大切な「海」について改めて考えて、海を守るためにできることを考えて実際に行動におこすことを目的としています。今日は小さな子ども達も参加していただいている、是非お父さん、お母さんと一緒に子ども達にも「海」に親しんでもらいたい。海のことを少し覚えてもらってほしいです。そして、子ども達は「キッズ探検隊」のメンバーとして、いろいろな海の体験に挑戦してもらいます。海にはいろいろなタカラモノがあります。ツアーの最後にご覧いただく「タカラモノ」を見つけたら、教えてほしいなと思います。それから、今回、保護者の皆様にはツアーに関するアンケートを後ほどお渡ししますので、是非ご協力をお願いします。あわせて今日は、テレビ「神奈川」の取材があるそうです。こちらから取材へのご協力をお願いすることがあるかもしれません。予めご承知ください。
		③スケジュール紹介	③では、早速海の宝物探しの大冒険ツアーのスケジュールをご紹介しますね。（配布資料のスケジュール概要を紹介）ここまで大丈夫ですか？
		④ツアー中のルールの紹介	④はい、有難うございます。最後にこのツアーが楽しく、みんなにいろいろな新しい発見があるように、合宿のお約束をお話したいと思います。よく聞いて下さい。まず1つめ。（スケジュール下部を指しながら）今回のツアーでは、学校や幼稚園ではなかなか会えない、横須賀の海のことなら誰でも知っている人たちが皆さんが知るのを楽しみに待っていて、準備してくれています。ぜひはしゃぎ元気に探検しましょう。こんな日は、よろしくお話しします。終わったら有難うございました！元気な挨拶を心がけましょうね。2つ目です。わからないことはぜひ質問しましょう。どうして？もって教えて？なんでもいいです。たぶん質問して下さい。そして最後3つ目です。ぜひみんなで楽しみましょう！

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 20

9

プログラムガイドライン③ (観音崎自然博物館)

時間	スケジュール	詳細	発注例
9:30 ~ 9:50	オリエンテーション	学芸員さん自己紹介 観音崎自然博物館の紹介	到着後、特別展示室へ誘導する。 ※神奈川テレビの取材あり。横断幕バックで記念撮影予定。 ★子ども達が早（磯遊びに行きたい！磯での動きをばやくやってみよう！）と思えるような楽しい雰囲気づくりを心がける。いこーよでは、今日一緒に磯の生き物観察を一緒にしているいろいろなことを教えてくれる観音崎自然博物館の山田さんをご紹介します。 →観音崎自然博物館のみなさんは前にお越しください。 ではここからは、山田さんに1分トクして、早速これからスケジュールを聞かせてもらいましょう。山田さんよろしくお話しします。 みなさん、こんにちは。私は観音崎自然博物館の●●です。 ⇒自己紹介を1分程度、観音崎自然博物館の全体概要を10分以内でご紹介下さい。 海の自然は宝物そのものです。子ども達は「海のキッズ探検隊」として、沢山の海の宝物である自然に「沢山の海」に触れ、自分にとっての宝物を2日間通して沢山見つけてもらうことが目的です。沢山の子ども達にとっての「好き」を見つけ、海に親しみを感じるから海を守る気持ちが育ちます。是非、冒険、観音崎の海には沢山の生き物が住んでいて、植物も見ることが出来ます。それらは海の宝物である、1つでも多くの宝物を探そう、と促すようなねらいの共有をお願いします。 ⇒滞在中のスケジュールをご説明下さい。 ⇒ルールをご説明下さい。 （生き物を見つけるルール、ケガから身を守るルール） ⇒着替えの場所をご案内下さい。再集合場所をご案内下さい。
9:50 ~ 10:20	着替え 移動		★着替え完了後、浜辺へ移動。磯遊びの場所へ誘導。
10:20 ~ 12:00	磯の観察 生き物採集 生き物の説明 自由散策（砂浜で遊ぶ、貝殻を集めるなど）	では早速、生き物を探しに行きましょう。 ⇒磯あそび、観察のポイント、どんなところにどんな生き物がいるかのヒントなどを話したいので、各世帯ごとに生き物採集に案内。 ⇒生き物を見つけるルール、ケガから身を守るルールも再確認。 ★子ども達の様子を見て、時間管理をする。 ★生き物の説明（名前、特長、どんな場所にいるのか、その理由など） ⇒東京湾でもまだ自然が残っているからこそ、沢山の生き物がいることを説明。 ★時間がゆるせば、自由散策の時間をとる。	

Copyright © Nextgeneration Value Consortium 11

11

参加状況

今回の体験合宿には、
計：10名の方にご参加頂きました。

【内訳】

人数：

組数：3組

大人6名、

子供4名(7歳：1名、4歳：2名、3歳：1名)

お住まい：

東京：3組

年間で海を訪れる回数：

1回：4名、3～5回：2名

※保護者の方へアンケートを実施

合宿の様子

集合写真
オリエンテーション(観音崎自然博物館)
磯観察(観音崎・東京湾)
世界で一つだけの海藻うちわづくり
水揚げ見学(佐島・大楠漁協)
セリスタート合図鐘鳴らし
いけす見学・氷づめ体験
タコ活け体験
体験まとめ・発表

■合宿の様子

■集合写真



■合宿の様子

■[1日目] オリエンテーション (観音崎自然博物館)



■合宿の様子

■[1日目] 磯観察 (観音崎・東京湾)



■合宿の様子

■[1日目] 世界で一つだけの海藻うちわづくり



■合宿の様子

■[2日目] 水揚げ見学 (佐島・大楠漁協)



■合宿の様子

■[2日目] セリスタート合図鐘鳴らし



■合宿の様子

■[2日目] いけす見学・氷づめ体験



■合宿の様子

■[2日目] タコ活けの体験



■合宿の様子

■[2日目] 体験まとめ・発表



プレスリリース

■原文

PRESS RELEASE

2018年7月18日(水)

報道関係各位

一般社団法人 次世代価値コンソーシアム



横須賀の海で子どもたちが変わる こども海のレスキュー隊へ！ in 横須賀 「海育(うみいく)」合宿、7月18日(水)から募集開始

一般社団法人次世代価値コンソーシアム(東京都品川区/代表理事:王麗華)は、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」を運営するアクトインディ株式会社(東京都品川区/代表取締役:下元敬道)と共同で、小学3年生以上の子供を対象とした体験合宿プログラム「こども海のレスキュー隊へ！」の参加者募集を7月18日(水)より開始します。この活動は、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる「日本財団「海と日本 PROJECT」」の一環として行っています。



1. コンセプトは、「海を学ぼう！海を味わおう！海を体験しよう！」。
現在、自然環境や生物資源など様々な面で「海の危機」が地球レベルで進行しています。「海の危機」は、日本の危機です。四方を海に囲まれた日本は、古来、海と共に社会、文化を形成してきました。しかし、調査によれば若年層になるに従い、海への親しみが減っています*1。
そこで、次世代を担う子どもたち向けに、海との多様なつながりを理解してもらい、海の危機を自分ごととして捉えるムーブメントをつくることを目的とし、体験合宿プログラムを企画しました。
- *1 「海と日本」に関する意識調査 2017 (日本財団) <https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/uminohi/img/1.pdf>
2. 「海育(うみいく)」～海を知り、海で生きる人との触れ合いの場を提供。
子どもたち海への親しみの減少は、海を知る機会の減少や海と関わる大人が周りにいないことです。弊法人は、横須賀市で海に係る方々の協力を得て、子どもたちに海の思い出と、人とのつながりを提供。この合宿プログラムは、海を通じた教育であり、子どもたちが「生きる力」を育む「海育(うみいく)」です。
3. 東京から1時間ほどの横須賀で開催。
合宿の開催地は、東京から1時間ほどで行ける横須賀。漁業、水産加工関係者や海の実践活動に携わる方々にご協力いただき、子どもたちが「海のレスキュー隊」として活動します。

【1泊2日 体験合宿プログラムの概要】

イベント名	9/8 こども海のレスキュー隊 in 横須賀【海と日本 PROJECT】
募集対象	小学3年生～小学6年生まで(保護者様のご参加必須) 最大10組様(1組3名様以上5名様まで(うち大人(保護者)1名以上、子ども1名以上))
開催場所	神奈川県横須賀市
募集期間	2018年7月18日(水)14:00～2018年8月24日(金)15:00
開催日	2018年9月8日(土)～2018年9月9日(日)※1泊2日
参加料	21,000円(税込) / 大人1名 18,500円(税込) / 子ども1名
集合場所	新宿駅西口・新宿センタービル1F 正面玄関前 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-25-1

交通手段	JR 新宿駅西口改札より徒歩7分
詳細 URL	https://iko-yo.net/events/122973/news/34733
問い合わせ先	株式会社 JTB プロモーション事業部 電話: 03-5909-8299

*一般社団法人次世代価値コンソーシアムでは、「海と日本 PROJECT」の一環として、本年度上記の横須賀以外に千葉県館山市と高知県黒潮町でも子供と海の体験合宿を行っています。

*本プレスリリースの情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

【主催団体の概要】

団体名称 : 一般社団法人 次世代価値コンソーシアム (略称 NVC)
 本社所在地 : 東京都品川区西五反田 1-27-2 ヒューリック西五反田ビル 8 階
 電話番号 : 03-6417-0116
 代表理事 : 王麗華
 設立 : 2017 年 12 月
 URL : <https://nvc.or.jp/>
 活動内容 : 次世代に価値を伝える事業の支援、次世代に価値を発信するネットメディアの運営



共催団体 : アクトインディ株式会社(東京都品川区/代表取締役:下元敬道/2003年創業)
 アクトインディ株式会社が運営する、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」について:
 子育て層の8割が利用する日本最大規模のお出かけ情報サイト・アプリ
 子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」 <https://iko-yo.net/>



【海と日本 PROJECT とは】

子どもたちを中心に海への関心や好奇心を喚起し、海の問題解決に向けたアクションの輪を広げることを目的に日本財団や政府の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクト。2017年夏には全国47都道府県で1,500件を超えるイベントを開催した。
 海と日本 PROJECT【日本財団】 <http://uminohi.jp/>



以上

＜取材に関するお問い合わせ先＞
 一般社団法人 次世代価値コンソーシアム 広報 石原 智 (いしはら さとし)
 電話: 03-6417-0116 / 090-1822-4108
 メールアドレス: ishihara.satoshi@nvc.or.jp

次世代価値コンソーシアムは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人とがつながることを目的として、本事業を実施しています。

＜体験合宿に関するお問い合わせ先＞
 株式会社 JTB プロモーション事業部
 電話: 03-5909-8299

■配信メディア一覧

この夏、横須賀の海で子どもたちが変わる「9/8 ども海のレスキュー隊in横須賀[海と日本PROJECT]」募集開始

No.	掲載日	媒体名	媒体社名	URL
1	2018/7/18	フレッシュアイ	株式会社スカラコミュニケーションズ	https://news.fresheve.com/article/fenwnews2/1000003/20180718150106_pr_pr000000003-000035412/a/index.html
2	2018/7/18	@DIME(アットタイム)	株式会社小学館	http://dime.jp/company_news/detail/?pr=336430
3	2018/7/18	Mart Community Blog	株式会社光文社	http://mc.mart-magazine.com/pressrelease/4?view=36292
4	2018/7/18	フレッシュアイ	株式会社スカラコミュニケーションズ	https://news.fresheve.com/article/fenwnews2/1000003/20180718140000_pr_pr000000003-000035412/a/index.html
5	2018/7/18	Mart Community Blog	株式会社光文社	http://mc.mart-magazine.com/pressrelease/2?view=36292
6	2018/7/18	elttha(エルザ)	オリコン株式会社	https://beauty.oricon.co.jp/pressrelease/343411/
7	2018/7/18	読売新聞(YOMIURI ONLINE)	株式会社読売新聞社	http://www.yomiuri.co.jp/adv/economy/release/detail/00417554.html
8	2018/7/18	財経新聞	株式会社財経新聞社	http://www.zaikai.co.jp/releases/656144/
9	2018/7/18	ORICON NEWS	オリコン株式会社	https://www.oricon.co.jp/pressrelease/343386/
10	2018/7/18	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000003A000035412
11	2018/7/18	Traicy(トライシー)	メディアエージェンシー有限責任事業組合	http://release.traicy.com/archives/20180718122577.html
12	2018/7/18	MarkeZine(マーケティング)	株式会社翔泳社	http://markezone.jp/release/detail/925326
13	2018/7/18	iza(イザ!)	株式会社産経デジタル	http://www.iza.ne.jp/kiji/pressrelease/news/180718/pr18071815450351-n1.html
14	2018/7/18	マピオンニュース	株式会社マピオン	http://www.mapion.co.jp/news/release/000000003.000035412/
15	2018/7/18	STRAIGHT PRESS	株式会社マッシュメディア	https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000003.000035412
16	2018/7/18	CREA WEB	株式会社文藝春秋	http://crea.bunshun.jp/ud/pressrelease/5b4ee911776561942c0a0000
17	2018/7/18	現代ビジネス	株式会社講談社	http://gendai.ismedia.jp/ud/pressrelease/5b4edbb87765613ac1130000
18	2018/7/18	産経ニュース	株式会社産経デジタル	http://www.sankei.com/economy/news/180718/pr1807180352-n1.html
19	2018/7/18	BIGLOBEニュース	ビッグロブ株式会社	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0718/prt_180718_9517553255.html
20	2018/7/18	日刊工業新聞 電子版	株式会社日刊工業新聞社	https://www.nikkan.co.jp/releases/view/55200
21	2018/7/18	ReseMom(リセママ)	株式会社イード	https://resemom.jp/release/prtimes/20180718/45118.html
22	2018/7/18	とれまが	株式会社サイトスコープ	https://news.toremaga.com/release/others/1151035.html
23	2018/7/18	Mart Community Blog	株式会社光文社	http://mc.mart-magazine.com/pressrelease?view=36292
24	2018/7/18	30min. サンゼロミニッツ	株式会社イード	http://30min.jp/release/prtimes/detail/85502
25	2018/7/18	NewsCafe	株式会社イード	https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20180718/201142.html
26	2018/7/18	SEOTOOLS	プラストホールディングス株式会社	http://www.seotools.jp/news/id.000000003.000035412.html
27	2018/7/18	BEST TIMES(ベストタイムズ)	株式会社ベストセラーズ	http://best-times.jp/ud/pressrelease_besttimes/5b4eea377765610889140000
28	2018/7/18	Infoseekニュース	楽天株式会社	https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000003_000035412/
29	2018/7/18	暮らしニスタ	株式会社主婦の友社	http://kurashinista.jp/pressrelease/detail/104458
30	2018/7/18	ぴあ	ぴあ株式会社	http://ure.pia.co.jp/articles/-/275652
31	2018/7/18	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	http://www.excite.co.jp/News/release/20180718/Prtimes_2018-07-18-35412-3.html
32	2018/7/18	OKWAVE Guide	株式会社オウケイウェイヴ	http://okguide.okwave.jp/cafe/3929080#cpt01
33	2018/7/18	ウレぴあ総研	ぴあ株式会社	http://ure.pia.co.jp/articles/-/275625
34	2018/7/18	JBpress(日本ビジネスプレス)	株式会社日本ビジネスプレス	http://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/5b4edb0677656177a4140000
35	2018/7/18	LINE NEWS(ラインニュース)	LINE株式会社	http://news.line.me/articles/oa-rp31535/0576507e637e
36	2018/7/18	東洋経済オンライン	株式会社東洋経済新報社	http://toyokeizai.net/ud/pressrelease/5b4edb607765611624130000
37	2018/7/18	Cubeニュース	株式会社キューブソフト	http://news.cube-soft.jp/prtimes/archive.php?id=291490
38	2018/7/18	PRESIDENT Online	株式会社プレジデント社	http://president.jp/ud/pressrelease/5b4edb097765617b2b130000
39	2018/7/18	時事ドットコム	株式会社時事通信社	https://www.jiji.com/jc/article?k=000000003.000035412&g=prt
40	2018/7/18	ダイヤモンド・オンライン(Diamond Online)	株式会社ダイヤモンド社	http://diamond.jp/ud/pressrelease/5b4edc367765618353130000
41	2018/7/18	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000003000035412_1.htm
42	2018/7/18	おたくま経済新聞	C.S.T Entertainment,Inc.	http://otakei.otakuma.net/archives/prtimes/000000003-000035412
43	2018/7/18	ニコニコニュース	株式会社ドワンゴ	http://news.nicovideo.jp/watch/nw3684231
44	2018/7/18	朝日新聞デジタル&M	株式会社朝日新聞社	http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CPRT201857709.html
45	2018/7/19	ReseMom(リセママ)	株式会社イード	https://resemom.jp/article/2018/07/19/45726.html
46	2018/8/3	観光かきかわNOW	公益社団法人神奈川県観光協会	http://www.kanagawa-kankou.or.jp/event/ev_detail.php?eid=ek16098

メディア掲載

■メディア掲載

■9月24日 テレビ神奈川 カナガワニ海



実施結果

以下、補足情報 (アンケート結果等)

●全体満足度

大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない
3	2	1	0	0

そう思う合計=6/6人 (100%)

アンケートの結果より、本体験合宿の内容は、参加者にとって高い満足度を得ることができました。

※本アンケートは保護者の方へ実施

●海に対する気持ちの変化

	保護者の方で「はい」と回答	お子様で「はい」と回答
海への興味・関心が（より）高まった	5/6人 (83%)	2/3人 (66%)
海への親しみを（さらに）感じるようになった	6/6人 (100%)	2/3人 (66%)
海が（より）好きになった	6/6人 (100%)	2/3人 (66%)
また海に行きたいと思った	5/6人 (83%)	2/3人 (66%)

- 子どもたちの変化

1日目の磯観察の際は、恐る恐る海の生き物を触るような感じでしたが、2日目の漁港では、水揚げされた魚や、生きたタコは、積極的に触る姿が印象的でした。

- 保護者の変化

「タコの活けの体験は初めてで驚きと学びの多い機会でした」や、「タコの活けの体験や、海で働く人たちのお仕事を知ることができてよかった」との声を頂きました。

上記より、本体験合宿をとおして、学びを得ることにより、海に対する気持ちの変化を醸成することができたと考えております。

■実施結果

● 口コミ意向

本体験合宿をとおして、どんなことを人に伝えたいと思ったか

「海の生態を維持することは大事」

「体験をすることでもっと良く知ることができること」

「It's a good way to experience the ocean. To take care of our environment.」

「実際に”触れる”ということが、子どもたちの成長を促すということ」

● 海の環境問題に関する関心

今回のプログラムを体験したことで、海の環境について考えるきっかけになったか

はい	いいえ
6	0

はい=6/6人 (100%)

※本アンケートは保護者の方へ実施

- 子どもたちの変化

「新鮮なお魚が届くのは氷があるから」という声があり、新鮮なお魚が食べられるのは、そのような工夫や手間をかけてくれているからだということに気づくきっかけを作ることができたと考えております。

- 保護者の変化

アンケートの結果より、本体験合宿をとおして、海の環境について考えるきっかけを提供することができたと考えております。
また「海の生態を維持することは大事」という声も頂きました。

上記より、本体験合宿をとおし、環境問題に関する関心を高めることができたと考えております。

●参加者の生の声

-子どもたちの声

- ・(漁港の製氷機で)氷が出てくるのが見えて楽しかった。
- ・(漁港で)魚をいっぱい見ることができて楽しかった。
- ・(活けメにしたときに)タコが白くなるのが面白かった。
- ・おいしいお魚を食べるためには、キレイな海が大切だとわかった。

-保護者の声

- ・子どもと一緒に体験を行っていく中で、自分自身も海に対して興味を持つことができ、より身近に感じることもできた。
- ・自分の食卓にどのように新鮮な魚が届くのかかわかった。環境を守らないと、自分たちにも影響があるということを実感することができた。
- ・東京から近い横須賀にも、自然があるということがわかった。この自然を守ることが大切だと思った。

■実施結果

●個別プログラムの評価

観音崎自然博物館	大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない	思わない	全く 思わない	
子どもにいいと感じた	2	2	2	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)
人に薦めたいと思う	2	0	3	1	0	0	0	そう思う合計=5/6人 (83%)
また参加したい	2	1	2	1	0	0	0	そう思う合計=5/6人 (83%)

大楠漁協見学・お手伝い	大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない	思わない	全く 思わない	
子どもにいいと感じた	4	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)
人に薦めたいと思う	4	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)
また参加したい	4	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)

平敏丸・蛸の活け～食事	大変 そう思う	そう思う	やや思う	どちら でもない	あまり 思わない	思わない	全く 思わない	
子どもにいいと感じた	4	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)
人に薦めたいと思う	4	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)
また参加したい	4	2	0	0	0	0	0	そう思う合計=6/6人 (100%)

アンケートの結果より、各個別プログラムの内容は、参加者にとって高い評価を得ることができました。

※本アンケートは保護者の方へ実施